

2021（令和3）年度研究集会
「官民オープンデータ利活用の動向及び人材育成の取組」

祖父母による家事・育児動向の基礎的分析 － 3世代世帯家族を対象に－

平井 太規
立教大学コミュニティ福祉学部

2021/11/18

本研究の目的

(1) 3世代同居世帯における祖父母の家事・育児時間算出

- ・3世代同居世帯において祖父母がどの程度、家事・育児を実践しているのか？
- ・父および母の家事・育児時間との比較
- ・核家族世帯との比較

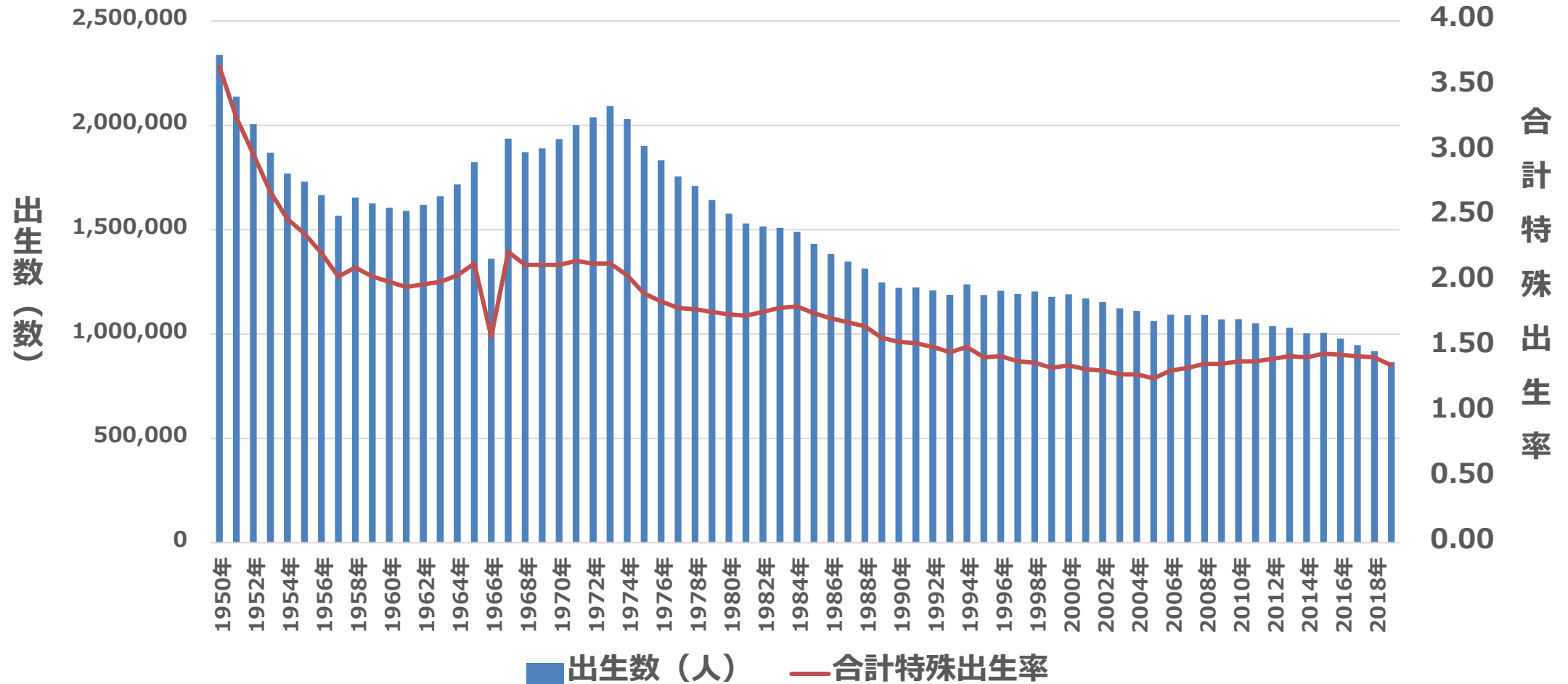
(2) 祖父母の家事・育児の規定要因分析

- ・どのような条件であれば、より祖父母は家事・育児を実践するのか？
- ・多変量解析による分析

(3) 祖父母の家事・育児が妻の負担軽減に寄与するかの検証

- ・3世代同居世帯において、祖父母の家事・育児は父母の負担につながるのか？
- ・多変量解析による分析

少子化の現況（1）



資料：「人口動態統計」より作成

少子化の現況（2）

結婚コ－ホート	0人	1人	2人	3人以上	完結出生児数（人）
	%				
1958-1962	3.0	11.0	57.0	28.9	2.19
1963-1967	3.1	9.1	55.4	32.4	2.23
1968-1972	2.7	9.6	57.8	29.8	2.19
1973-1977	3.1	9.3	56.4	31.3	2.21
1978-1982	3.7	9.8	53.6	32.9	2.21
1983-1987	3.4	8.9	53.2	34.4	2.23
1986-1990	5.6	11.7	56.0	26.7	2.09
1991-1995	6.4	15.9	56.2	21.6	1.96
1996-2000	6.2	18.6	54.1	21.1	1.94

資料：「第15回出生動向基本調査 結果の概要」より作成

少子化の現況・要因

- ① 社会全体の子ども数の減少
- ② 各年における新生児数の減少
- ③ 1人の女性が生涯に出生する平均子ども数の減少
- ④ 夫婦が（最終的に）もつ子ども数の減少



- ・ 未婚化、晩婚化で出生の機会を喪失しやすい
- ・ 経済的余裕がないゆえに、子どもを産めない／増やせない
- ・ **育児ネットワーク／サポート資源の減少に伴い、育児不安が増大**
etc

夫婦の子ども数の減少

完結出生児数（夫婦の子ども数）の減少：

1980年代結婚コーホートまでは、結婚すると2～3人の子どもが生まれていたが、近年のコーホートでは、「2人目の壁」が顕著になっている

経済的な制約などによって、子ども数を増やせない／子どもを持たないなどがあるが、**育児ネットワークの弱体化（松田 2008）**も重要な要因

3世代同居家族推進・支援

育児ネットワークの強化推進策？

* 祖父母は重要な家事・育児のサポート資源（北村 2015）

『一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策－成長と分配の好循環の形成に向けて－』（2015年）

⇒「家族の支え合いにより子育てしやすい環境を整備するため、三世代同居・近居の環境を整備する。」

(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ichiokusoukatsuyaku/kinkyu_taisaku/hontai.pdf) 3ページ

『ニッポン一億総活躍プラン』（2018年）

⇒「子育て中の親の孤立感や負担感が大きいことが、妊娠、出産、子育ての制約になっていることがある。大家族で、世代間で支え合うライフスタイルを選択肢として広げるため、三世代同居・近居をしやすい環境づくりを推進する。」(<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ichiokusoukatsuyaku/pdf/plan1.pdf>) 14ページ

3世代同居家族推進政策の概要

(1) 3世代同居に対応した良質な木造住宅等の整備への支援

(2) 3世代同居など複数世帯の同居の実現のためのリフォーム工事への支援

(3) 3世代同居に対応した住宅リフォームを行った場合の所得税の税額控除

* (3) については、2019年6月30日までが適用期限

その他、自治体によっては独自に3世代同居のための引っ越し代、住宅取得費などを支援するところもある。

先行研究（1）

同居していると、祖父母からのサポートを受けやすいのか？

同居もしくは近居であると、遠居の家族よりも祖父母のサポートを受けやすい
(佐々木ほか 2017 ; 佐々木 2018)



女性（妻）の就業継続、育児不安解消などにも寄与する

同居していると、「親代わりとなって孫を育てる」「親が用事をすます間、孫の面倒をみる」可能性が、30分以上離れて暮らしている居住形態よりも高まる
(安藤 2017)

育児支援のニーズが発生することで同居が推進されることはたしかにあり得るが、実際に子育て中であることが同居の規定要因にはなっていない（大和 2017）。
ただ、上記のように同居していることで確かに祖父母のサポートは受けやすい。

先行研究 (2)

祖父母の誰がどの程度、家事や育児のサポートをしているのか？

孫への子育て参加の頻度は、①母方祖母②父方祖母③母方祖父④父方祖父の順に高い

(八重樫ほか 2003)

祖父よりも祖母の方が、サポートに携わっている



海外の動向では、夫方祖父母よりも妻方祖父母の方が孫の育児により関わる
(Pollet, Nettle and Nelissen 2006; Tiimse and Liefbroer 2013)

日本では「祖父よりも祖母」、海外では「夫方よりも妻方」がより孫の育児に関わっている

使用するデータ

「社会生活基本調査」匿名データ：2006年

* 2001年調査よりA票・B票、2種類の調査票が導入されている。本研究ではA票のデータを使用。

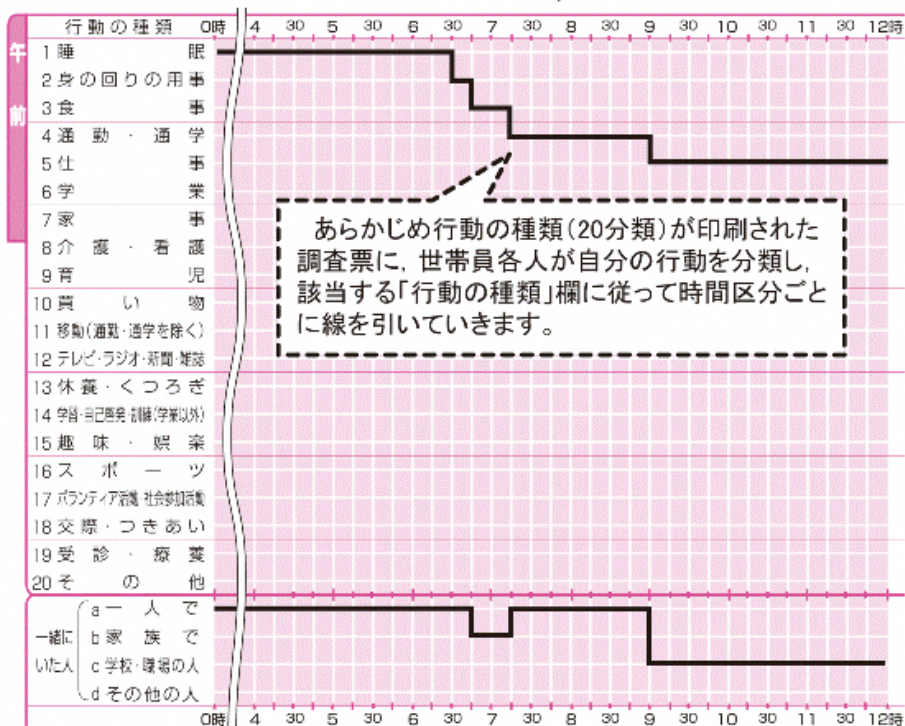
調査目的	<ul style="list-style-type: none">・国民の生活時間の配分および自由時間における活動を調査する・国民の社会生活の実態を明らかにする
調査時期	<ul style="list-style-type: none">・10月上旬～中旬のある期間のうち連続する2日間
調査対象	<ul style="list-style-type: none">・指定された調査区内に居住する世帯から選定された、約4000世帯内にふだん住んでいる10歳以上の男女
抽出方法	<ul style="list-style-type: none">・1次抽出：都道府県ごとに人口に基づく確率比例抽出により抽出・2次抽出：等確率無作為抽出により、各調査区から10世帯前後を抽出

* 政府統計匿名データは「行政機関等が行う統計調査によって集められた調査票情報を、特定の個人又は法人その他の団体の識別（他の情報との照合による識別を含む）ができないように加工したもの」(<https://www.nstac.go.jp/services/anonymity.html>) である

「社会生活基本調査」調査票A/Bの差異

<調査票A>

【プリコード方式の調査票の記入例】



<調査票B>

【アフターコード方式の調査票の記入例】

時刻	おもに何をしていましたか ※15分ごとに おもなもの一つだけ記入してください	同時に何か 他 のことも していましたか ※複数ある場合は 一つだけ記入してください	インターネット の利用	場所				一緒にいた人 (出ているものをすべて記入してください)						
				自宅	学校 ・ 職場 ・ その他	移動中	その他	1	2	3	4	5	6	7
0:00	朝食のしたく 朝食を食べる	雑誌を読む		①	2	3	4	①	2	3	4	5	6	7
0:30	歯磨きをする			2	3	4		2	3	4	5	6	7	
1:00	仕事			2	3	4		2	3	4	5	6	7	
1:30				2	3	4		2	3	4	5	6	7	
2:00				2	3	4		2	3	4	5	6	7	
2:30				2	3	4		2	3	4	5	6	7	
3:00	お茶を飲む			2	3	4		2	3	4	5	6	7	
3:30	仕事			2	3	4		2	3	4	5	6	7	
4:00				2	3	4		2	3	4	5	6	7	
4:30				2	3	4		2	3	4	5	6	7	
5:00	洗濯機をセットする			①	2	3	4		2	3	4	5	6	7
5:30	3歳の子供を保育園に迎えに行く	犬の散歩をする		1	2	③	4	①	2	3	4	5	6	7
6:00	買い物に行く			1	2	③	4	1	2	3	④	5	6	7
	買い物をする			1	2	3	④	1	2	3	4	5	6	7

資料：総務省統計局 『平成23年社会生活基本調査 調査票Aと調査票Bの生活時間欄の違いについて』
<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2011/time/index.html>

分析対象

	全サンプル	3世代同居家族				核家族	
		祖父	祖母	父	母	父	母
世帯数	5万5484	490				4138	
サンプル数	27万2861	それぞれ975				それぞれ8244	

*** 以下の条件を満たしている世帯を分析対象とした**

<3世代同居家族・核家族共通>

- ①子どもが1人以上おり、末子が6歳未満
- ②父母がともに健在で子どもや祖父母らと同居している
- ③曜日は平日、土日双方を含む

<3世代同居家族>

- ④祖父母がともに健在で、父母や子（祖父母から見ると孫）と同居している

家事・育児時間（分）

	3世代同居家族				核家族	
	祖父	祖母	父	母	父	母
平均値	34.55	230.15	45.52	341.43	60.34	380.94
標準偏差	84.29	176.48	101.80	216.66	116.42	210.05
最小値	0	0	0	0	0	0
最大値	630	900	705	1035	930	1140
N	975	975	975	975	8244	8244

- ① 祖母は家事・育児をかなり実践しているが、祖父はあまりしていない
- ② 母の家事・育児時間が長く父が短いのは、核家族も3世代同居世帯も同様の構図
- ③ 3世代同居家族であっても、母の家事・育児時間は核家族とほとんど変わらない

祖父：家事・育児時間の規定要因（1）

*トービット分析

	モデル1	モデル2	モデル3	モデル4
(切片)	-256.497**	-260.253**	-287.023**	-310.743**
年齢（基準：60歳未満）				
60-64歳	27.272	29.347	29.779	32.200
65-69歳	94.944**	106.613**	109.359**	103.558*
70-74歳	115.804**	128.742**	134.101**	123.903*
75歳以上	168.300**	177.433**	183.193**	167.122
学歴（基準：中学校）				
高校	20.654	24.165	27.500	21.835
短大・高専・大学以上	34.443**	130.668**	137.548**	121.435**
末子年齢（基準：0歳）				
1-2歳		8.755	8.156	2.623
3-5歳		-33.717	-47.154	-33.966
子ども数（基準：1人）				
2人		6.491	2.873	-1.106
3人以上		23.833	25.227	23.764

祖父：家事・育児時間の規定要因（2）

*トービット分析

同居形態

妻方同居ダミー

37.664

18.175

曜日

平日ダミー

-10.420

-6.952

父母就労状況

共働きダミー

45.914*

19.861

祖母－家事・育児時間

0.270**

父－家事・育児時間

0.157+

母－家事・育児時間

-0.053

調整済R二乗

0.075

0.083

0.094

0.135

-2対数尤度

3838.591

3834.261

3828.045

3797.199

N

975

祖母：家事・育児時間の規定要因（1）

*重回帰分析

	モデル1	モデル2	モデル3	モデル4
(定数)	222.851**	225.400**	182.349**	213.373**
年齢（基準：60歳未満）				
60-64歳	-13.439	0.045	-1.669	-2.390
65-69歳	27.406+	43.279**	43.424**	34.710*
70-74歳	35.327+	45.622*	51.506**	40.858*
75歳以上	-2.932	5.787	11.506	-4.473
学歴（基準：中学校）				
高校	-2.485	-4.226	-0.280	1.177
短大・高専・大学以上	35.565	31.125	42.238+	31.897
末子年齢（基準：0歳）				
1-2歳		-1.393	-1.128	-11.521
3-5歳		-53.443**	-66.027**	-74.859**
子ども数（基準：1人）				
2人		26.699*	20.258	25.036+
3人以上		9.754	9.945	15.387

祖母：家事・育児時間の規定要因（2）

* 重回帰分析

同居形態

妻方同居ダミー

63.781**

62.126**

曜日

平日ダミー

22.008*

26.686*

父母就労状況

共働きダミー

49.714**

32.391**

祖父－家事・育児時間

0.354**

父－家事・育児時間

0.101+

母－家事・育児時間

-0.089**

調整済R二乗

0.006

0.024

0.056

0.096

F値

1.971+

3.389**

5.477**

7.437**

N

975

祖父母による家事・育児時間の分析結果まとめ

(1) 祖父の家事・育児の規定要因

- ①概ね高齢であるほど、家事・育児時間は長くなる
- ②高学歴であるほど、家事・育児時間は長くなる
- ③末子年齢、子ども数、同居形態、曜日、父母の就労状況では有意になっていない
- ④祖母と父の家事・育児時間が長いほど、祖父の時間も長くなる

(2) 祖母の家事・育児の規定要因

- ①60歳代後半、70歳代前半で家事・育児時間は長くなる
- ②学歴による効果はみられない
- ③子どもが成長するにつれて家事・育児時間は短くなり、子ども数では1人に比べ2人だと長くなる
(ただし、3人以上では有意ではない)
- ④妻方同居であるほど、平日であるほど、父母が共働きであるほど家事・育児時間は長くなる
- ⑤祖父と父の家事・育児時間が長いほど祖母も長くなり、母の時間が長いほど祖母は短くなる

祖父母の家事・育児時間が妻の負担軽減に 与える影響（1） *重回帰分析

	モデル1	モデル2	モデル3	モデル4
(定数)	366.961**	311.757**	420.663**	445.207**
年齢（基準：30歳未満）				
30-34歳		-7.671	27.800	13.788
35-39歳		-0.531	67.960**	58.073**
40歳以上		-4.853	87.131**	44.510+
学歴（基準：中学校）				
高校		54.848+	45.185	72.090*
短大・高専		54.421+	53.724+	87.797**
大学以上		129.261**	80.991*	100.657**
末子年齢（基準：0歳）				
1-2歳			-99.697**	-89.284**
3-5歳			-223.945**	-172.861**
子ども数（基準：1人）				
2人			14.936	27.900+
3人以上			18.706	26.924

祖父母の家事・育児時間が妻の負担軽減に与える影響（2） *重回帰分析

同居形態

妻方同居ダミー 7.138

曜日

平日ダミー 4.364

父母就労状況

共働きダミー -145.138**

祖父－家事・育児時間 -0.065 -0.070 -0.089 -0.050

祖母－家事・育児時間 -0.101* -0.098* -0.163** -0.109**

調整済R二乗 0.006 0.015 0.134 0.255

F値 4.047* 2.801** 13.563** 19.877**

N 975

結論

(1) 3世代同居世帯における祖父母の家事・育児時間

- ・祖父は父同様、ほとんど家事や育児をしない
- ・祖母は相当時間数、家事や育児に携わり、貴重なサポート資源となっている

(2) 祖父母の家事・育児時間の規定要因

- ・祖父母ともに、年齢が比較的高い段階にあるほど家事・育児を行う
- ・祖父は社会経済的資源の高さによって家事・育児時間が異なるが、祖母は子どもの年齢や子ども数などの子どもの成長過程によって異なっていく
- ・祖父は祖母らの家事・育児時間はがあまりに長いとサポートをする。ただし、祖父が家事・育児時間が長くなっても、祖母や母らの求める水準に達していないためからか、祖母らの負担がかえって増加する

(3) 祖父母の家事・育児が妻の負担軽減に与える影響

- ・核家族世帯と比較しても、3世代同居世帯の妻の家事・育児時間はとても長い。
- ・ただし、祖父母のサポートによって多少の負担軽減につながる。

参考文献

- 安藤究、2017、『祖父母であること 戦後日本の人口・家族変動のなかで』名古屋大学出版会
- 北村安樹子、2015、「祖父母による孫育て支援の実態と意識：祖父母にとっての孫育ての意味」『ライフデザインレポート』215: 15-24.
- 松田茂樹、2008、『何が育児を支えるのかー中庸なネットワークの強さ』勁草書房.
- Pollet,T., Nettle,D. and Nelissen,M.,2006, Contact Frequencies between Grandparents and Grandchildren in a Modern Society:Estimates of the Impact of Paternity Uncertainty, *Journal of Culture and Psychology*,4,203-214.
- 佐々木尚之・高濱裕子・北村琴美・木村文香、2017、「歩行開始期の子をもつ親と祖父母のダイアドデータの分析：育児支援頻度および回答不一致の要因」『発達心理学研究』28(1) 35-45.
- 佐々木尚之、2018、「三世代同居・近居の因果効果の推定」佐々木尚之・高濱裕子編『三世代の親子関係：マッチングデータによる実証研究』風間書房、pp.121-140.
- Tiiomese,F. and Liefbroer,A.C.,2013, Child Care and Child Births:The Role of Grandparents in the Netherlands, *Journal of Marriage and Family*,75(2)、403-421.
- 八重樫牧子・江草安彦・李永喜・小河孝則・渡邊貴子、2003、「祖父母の子育て参加が母親の子育てに与える影響」『川崎医療福祉学会誌』13(2)：233-245.
- 大和礼子、2017、『オトナ親子の同居・近居・援助 夫婦の個人化と性別分業の間』学文社.

謝辞・付記

- ご清聴ありがとうございました。
- 本報告は「平成30年度一橋大学経済研究所共同利用・共同研究拠点政府統計匿名データ利用推進プログラム」からの助成を受けた研究成果の一部です。また、各分析結果は、統計法に基づき、国立大学法人一橋大学を通じて、独立行政法人統計センターから「社会生活基本調査」に関する匿名データの提供を受けた上で、独自に作成・加工した統計データです。
- 新型コロナウイルスの収束が未だ見通せない中、本研究集会の準備・運営にあたられた先生方とスタッフの皆様に感謝申し上げます。